南区の子育て支援関係者向け情報誌　第34号

にこで　～和　手～

2020年冬号　南区地域子育て支援拠点はぐはぐの樹　発行

コロナ禍の中、一層注目を集めるようになったオンライン。スマートフォンの世帯保有割合が約8割となっている今、その活用を広げていくことは地域の子育て支援においても有効と思われます。「会えなくてもつながれる」新しい手段として上手に馴染み、使いこなしていきたいですね。

支援者向け講座　今だから聞きたい　オンライン講座

①ZOOM体験会

対象者：南区内で地域活動、子育て支援活動をされている方で、ZOOM未体験の方
（②のホスト講座に参加を希望する方で、ZOOM未体験の方は必ずこちらにご参加ください。）

日　時：**①1/29(金)10:00～11:00　②1/29(金)13:00～14:00**
③1/30(土)10:00～11:00　④1/30(土)13:00～14:00
＊上記日程から１つお選び下さい。ご都合が合わない場合はご相談下さい。
場　所：はぐはぐの樹交流スペース　（ご自宅のPCやスマホなどから、来場しないでの参加も可能です）

②ZOOMミーティングホスト講座

対象者：南区内で地域活動、子育て支援活動をされている方で、オンラインでのミーティングやプログラム主催を考えている方

日　時：**２月８日（月）10:00～12:00**（受付9:45）
場　所：はぐはぐの樹交流スペース
講　師：NPO法人 まちづくりエージェント SIDE BEACH CITY. 高見 知英 氏
定　員：10名（先着順）＊ご自身のノートパソコン・タブレットを持参しての参加も可能です。

申込み：
１月５日㈫から
Googleフォームにて
お申込みください。

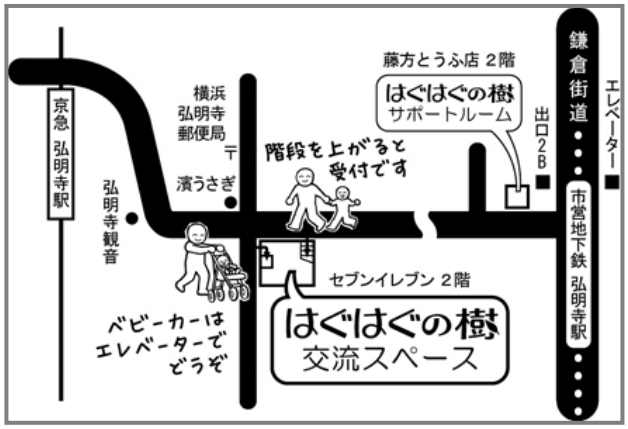
＊QRコードを読み込めない方は
ｈａｇｈａｇｎｏｋｉ@ｇｍａｉｌ．ｃｏｍ に
メールしてください。
折り返し担当者からご連絡いたします。

「安心が幸せにつながる食支援ネットワーク」をめざすボランティア団体**フードバンク浜っ子南**と**はぐはぐの樹**が**コラボ**したご希望の方に無償で食品を提供する**支援イベント**です！

フードパントリーイベント

１月10日（受付中）
２月14日（1/10から受付）
３月14日（2/14から受付）
いずれも日曜日
14時～16時

＊**はぐはぐの樹交流スペース**にて
＊主に**ひとり親家庭の方**が対象です。
（法的にひとり親でなくても可）
＊フードバンク浜っ子南のホームページのお問い合わせフォームから申込み。**こちらから↑↑↑**



「にこで～和手～」第34号
【発行】南区地域子育て支援拠点はぐはぐの樹
〒232-0056　南区通町4-115　アイルイン弘明寺２階
TEL:720-3655　FAX:715-3815
MAIL：info@haghagnoki.jp

開催報告

第１回南区子育てもっとネット会議
「逆境をバネに さらに良い地域に」

2020年10月9日(金)
第1部 13:30～ 第2部 15:00～
南区役所1階 多目的ホール

例年より 3 か月ほど遅く開催された今年度の第 1 回もっとネット会議。新型コロナウイルス対策として 1 時間ずつの 2 部制で行いました。

まずは、今回新たに、もっとネットに参加することになった団体、第 1 部では「さくらザウルス別所ひろば」、第 2 部では「NPO 法人おもいやりカンパニー」の自己紹介からスタート。その後、それぞれ団体・施設の近況・活動状況を報告し合いました。

感染予防のために恒例になっているグループ形式はやめて教室形式にしたのが、やや緊張した雰囲気ながら返って新鮮に感じられました。参加者の皆さんが集中して話に耳を傾ける中、保育園の園長先生からはコロナ禍の中の親子の様子、地域の子育てサロンの方からは活動休止を経て再開へと向かうにあたっての逡巡、そして感染防止との両立のための様々な工夫等について多くの発言がありました。

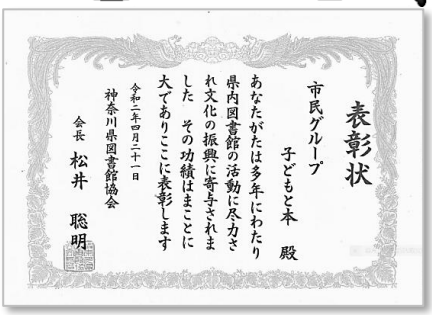
全体を通じて、乳幼児親子の状況に心を寄せ、直接顔を合わせることができなくても、何か“つながりを感じられること”で乳幼児家庭を応援したいという参加者の皆さんの熱意がじわじわと感じられる会でした。

ご参加の皆さん、ありがとうございました。

▽▲▽▲▽▲ 参加者の声 ▽▲▽▲▽▲

- どこも手さぐりで方法を試しながら再開したり続けている事をお聞きして背中を押されました。
- お母さんたちがちょっとした気持ちを話せる安心した場所は、これからもますます必要になってくると思います。「会わないけれどつながっている」という関係はとても大切だと思います。
- 活動をまだ再開できないという声は…なんとも悩ましく…何とか再開できる協力はできないものか…と考えてしまいました。色々な方の声を聞けるとヒントがもらえそうです。
- フードバンクの取組が必要とされる方に届いたという事例に地域のつながり、地域力を感じました。
- 南区は地域のつながりが密で支えあっている所が最大の強みだと思います。このような場で情報共有は助かります。
- 個々に意見交換ができないのは残念でしたが、数か所の話、事前アンケートなどで他の方々の情報が知れてよかったです。
- サロン他の再開にむけての皆さまの考え方などをきくことができてよかったです。再開していくうえで、必要なこと、大切なことをあらためて考えていくよい機会を頂きました。
- 今までの形でなく、さまざまな形で工夫しながら再開。ZOOMでの親子交流や地域の方々との交流、新しい形でもコロナ禍の中でできるものがあるのだと知ることができました。
- できない中で、できることを工夫し、皆さん頑張っていることを知り、自分にもできることを見つけていきたいです。
- こういう時だからこそ、つながり、コミュニケーション、情報の周知や共有などが必要だと感じました。逆境をバネにさらに良い地域になれば、と思います。
- みなさん、コロナ禍でできることを模索しながら行っているなと感じました。自分たちはなかなかスタートできていないと思っていましたが、みんな同じであることを感じホッとしました。

市民グループ「子どもと本」
神奈川県図書館協会功労者表彰！



表彰状

市民グループ
子どもと本 殿

あなたがたは多年にわたり県内図書館の活動に尽力され文化の振興に寄与されました その功績はまことに大でありここに表彰します

令和二年四月二十一日
神奈川県図書館協会
会長 松井 聡明

設立から３０年近くの長きにわたり、子どもの読書活動推進のための幅広い取り組みをされてきた「子どもと本」の皆さん。代表の金澤さんは「はぐはぐの樹 子ども図書館」の館長として、おはなし会や絵本相談でもお馴染みの方です。南図書館で毎月開催している「おはなし会」は読み聞かせや紙芝居、手遊び等を楽しむ親子の笑顔であふれています。

この度は誠におめでとうございます！これからもますますご活躍ください。